



岩松小学校だより



学校だより 第16号

令和8年7月17日発行

発行者 校長 真子靖弘

「正解のない問い」に挑む、ワクワクする夏に！

いよいよ明日から夏休みが始まります。学校の教室から少し離れ、子どもたちが**自分の「好き」や「興味」**を思いきり**深掘りできる貴重な時間の到来**です。この夏休みが、一人ひとりの個性を磨き、豊かな人生へとつながる最高の学びの機会となることを願っています。



夏休みの課題には必修と選択がありますが、おすすめは、答えが決まっていない**「正解のない課題」への挑戦**です。たとえば、「**佐賀県児童生徒ふるさと学習コンクール**」は、身近な地域や佐賀県の魅力からテーマを見つけ、調べ、まとめる、探究活動そのものです。広用紙1枚にまとめるのも、4年生以上ならデジタルで表現するのも自由。自分のスタイルで深掘りできます。「何をテーマにすればいいかわからない……」というときは、これまでの生活科や総合的な学習の時間で出会った「問い」を出発点にするのがおすすめです。本校の子どもたちには、すでにたくさんの素敵な材料が揃っています。例えば、

- ・3年生：「やさしいまち」 ・4年生：「小城羊羹」
- ・5年生：「ホテル」 ・6年生：「小城の史跡」

「学ぶ」ということは、決して教科書の知識を暗記するだけではありません。**「自分で疑問を感じ、自分で考え、自分で調べ、情報を編集して、解決する力」**これこそが、これからの時代を生きる子どもたちに**必要な力**です。知らなかったことを知る楽しさ、分からなかったことが紐解かれていく喜び、そして自分の問いに自分なりの答えを導き出したときのワクワク感。それこそが、学びの本当の姿です。

もし日頃の学びが、どこか「テストや受験のためだけ」になってしまっていると感じるなら、この長い休みは大チャンスです。ぜひご家庭で、お子様と一緒に「何のために学ぶのかな?」「知ることって楽しいね」といったテーマで、じっくり言葉を交わしてみてはいかがでしょうか。

この夏、自律と挑戦でレベルアップ！

7/17(金)、1学期の**終業式**を迎えました。**校長講話**では、**子どもたちへ「充実した夏休みにしてほしい」という願い**を込め、次のようなメッセージを伝えました。

夏休みに向けて「知・徳・体」の目標を立て、理想に近づく努力をしてほしいと思います。**大切なのは結果よりも、目標に向かって努力する「過程（プロセス）」**です。自分を律して挑戦を積み重ねれば、思うような結果が出ずとも、自分で考えて次に進む強さが身につきます。逆に過程を頑張らなければ、良い結果も「たまたま」に過ぎず、次の学びにはつながりません。

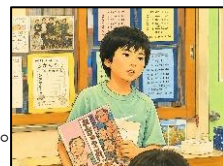


この夏休みを通して「学び」「自立心」「健康」がレベルアップした岩松っ子の皆さんと、2学期に元気な笑顔で再会できることを楽しみにしています。

図書委員会主催 ビブリオバトル開催！

7/9(木)の昼休み、図書委員会主催の**「ビブリオバトル」**が開催されました。昨年度から始まったこの大会、今年は**6人のバトラー**が登壇。お気に入りの「推し本」の魅力を1分30秒という限られた時間の中で熱く語り合いました。フロアでの投票の結果、4年生の**長友**さんが紹介した**『54字の物語』**が見事、**チャンプ本**に選ばれました！

新しい本との出会いが広がる、実り豊かなひとときとなりました。



Well-being な学校づくりへ

7/8(水)、外部コンサルタント**「先生の幸せ研究所」**の岩淵さんをお迎えし、**子どもたちと教職員の「Well-being（心豊かな幸せ）」を実現するための研修会**を開催しました。当日は教職員から「これを取り入れたい!」という前向きなアイデアがたくさん湧き出しました。「愉しくなければ学校じゃない!」を推進するため、2学期から新たな取組に挑戦していきます！